



広報葉山が 5年連続 最優秀賞！

神奈川県広報コンクール 広報紙・町村部

この度、葉山町が毎月発行する『広報葉山』の12月号（令和4年12月1日発行）が、「神奈川県広報コンクール」で最優秀賞に選ばれました（**近年9年間で8回目**）。当該広報紙は、公共社団法人日本広報協会が主催する「全国広報コンクール」に推薦されます。表彰式はありませんが、後日賞状が贈られます。

問合せ 政策課 安藤・河野（内線332）



◆ 入選した広報葉山12月号の概要

命の大きさは人間も動物も同じです。しかし、犬などのペットたちは、飼い主に手放されてしまうと、一人で生きていくことはできません。ペットを飼うとき、私たち人間は「大切な命を預かる」覚悟が必要なのです。

葉山町は犬の飼育率が県内1位です。一方で、神奈川県では殺処分ゼロを達成しながらも、毎年何らかの事情により保護される保護犬はいまだ200頭以上にのぼる現実があります。そこで、これからも犬とともに生きる町として、保護犬とその犬たちを守る人の活動から大切な命について考える特集としました。

保護犬といったらかわいそうなイメージを持つ方が多かったり、犬が嫌いな人もいたりする中でも「人もペットも、幸せになるために一緒にいる」ということに注目し、犬を飼っている人も飼っていない人も、読んだ後に温かい気持ちになれる記事を目指しました。

◆ 県広報コンクールでの講評

犬の飼育率1位ということで組まれた保護犬の特集です。殺処分ゼロを目指して奮闘している人たちの実態に迫る記事、さらに飼わないボランティア、里親など多様な立場の人たちのインタビューが立体的に保護犬の実態を浮かび上がらせる充実の内容で、つい読んでいて目頭が熱くなりました。犬の写真のBefore Afterで、犬にも感情がある事が見てすぐ理解でき、飼い主へのお願いの手紙まであり、この特集を読んだら、動物を飼う事に責任を負う事がきちんと理解できます。

行政の支援内容についても非常に丁寧に記載されていて、市民の安心につながる構成なのも良かったです。担当者の思いが伝わってくる点を大いに評価しました。

